



# 国民春闘共闘

第25号  
2015年6月3日

国民春闘共闘委員会  
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館  
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2015春闘・第7回賃上げ集計

## 単純 5,729 円 加重 6,158 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は5月29日、2015年春闘における第7回目の賃金改定集計を行いました。

### <回答状況>

	2015年	2014年
登録組合数	835	855
回答組合数	495 (59.3%)	499 (58.4%)
うち金額・率回答	367	374
うち「定昇のみ」など言葉による回答	128	125
うち上積み獲得	109 (22.0%)	114 (22.9%)
うち妥結組合数	254 (51.3%)	269 (53.9%)

### <回答内容>

集計方法&対象		2015年	2014年	(前年比)
単純平均	額(円)	5,729	5,780	-51
	率(%)	2.06	2.01	+0.05
加重平均	額(円)	6,158	6,215	-57
	率(%)	2.07	2.09	-0.02
	組合員数(人)	93,633	97,814	

### <前年実績との比較が可能な組合における回答状況(金額での比較)>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	(前年超)	(同 額)
322	197 (61.2%)	166	31

### <前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	(前年比)
単純平均	額(円)	322	5,840	5,723	+117
	率(%)	187	2.15	2.11	+0.04

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇のみ」など言葉による回答は計算から除いています。

## <集計結果の概要>

### 回答引出し・妥結状況

第7回集計は25単産・部会（うち、通信労組は「成果手当部分などの引き上げ」のため総括表には表記せず）での集計となりました。

登録835組合のうち、これまでに回答を引き出したのは、495組合・59.3%で、前回調査（5月15日現在：453組合・54.2%）から42組合・5.1%上昇しています。全農協労連、全労連・全国一般、金融労連、日本医労連などで回答引出し組合が増えています。

前年同期（2014年5月29日現在：499組合・58.4%）との比較では回答引出し率で0.9%上昇しています。

回答引出し組合のうち、現時点で妥結しているのは254組合で、妥結率は51.3%となっています（「定昇のみ」などの言葉による回答組合も含む）。前回調査（203組合・44.8%）から51組合・6.5%上昇し、前年同期（269組合・53.9%）を2.6%下回っています。

5月後半に入り未解決組合での決着が進んでいる一方で、夏季一時金闘争とも併せ、依然として多くの組合が力強くたたかっています。

### 全体の回答内容

有額回答を引き出した24単産・部会での単純平均（一組合あたりの平均）は5,729円・2.06%、加重平均（組合員一人あたりの平均）は6,158円・2.07%となっています。

前回調査からは単純平均31円増・±0%、加重平均3円減・+0.01%となり、前年同期比では単純平均51円減・+0.05%、加重平均57円減・-0.02%となっています。

回答引出しのあった495組合のうち、数字にわたる上積み回答を引き出したのは109組合・22%となっています。前回調査（96組合・21.2%）から13組合・0.8%増えましたが、前年同期（114組合・22.9%）を5組合・0.9%下回っています。最高次数はJMIU（2組合）、地方マスコミ（1組合）の計3組合での6次回答で、JMIU、化学一般労連（各1組合）の計2組合が5次回答、JMIU（3組合）、日本医労連（1組合）の計4組合が4次回答と続いています。

賃金引き上げの最高額は出版労連の組合での16,730円で、出版労連（9組合）、JMIU（8）、建設関連労連、民放労連、映演労連（各2）、全農協労連、全証労協、地方登録組合（1）の26組合で1万円以上の賃金引き上げを獲得しています。また、引き上げ率での最高はJMIUの組合の6.09%で、140組合（前年同期145組合）が2%以上の引き上げ率となっています。

単産・部会別の集計をみると、建交労・製造では1次回答から5,000円以上の上積みを獲得した組合があり、前回調査から平均額を大きく伸ばしています。また、全国一般の卸売・小売、日本医労連でも前回調査から若干平均額が上がっています。

額での水準に着目すると、建設関連労連、全証労協、民放労連、出版労連、映演労連が高水準で全体を牽引しているのをはじめ、JMIU、地方マスコミで単純・加重平均ともに全体平均以上となっています。

単純平均額で前年同期と比較可能な23単産・部会のうち、12組合が対前年同期比プラス、11単産・部会がマイナスとなっています。

規模別でみると、「1000人以上」が単純平均6,096円・2.13%、加重平均6,540円・2.25%と高水準となっています。

## 前年実績比較可能組合での回答状況

同一組合での前年実績対比が可能な 322 組合での単純平均額は 5,840 円で、前年実績比 117 円増となっています。集中回答日翌日（3月12日）の第1回調査時では前年実績比 307 円減からのスタートとなりましたが、調査を重ねるごとにマイナス幅は縮小し、4月24日の第5回調査で前年実績比プラスに転じました。そして、それ以降はプラス幅を拡大しながら推移しています。

金額で比較可能な 322 組合のうち、197 組合・61.2%が前年実績額以上の回答を引き出しています。生協労連の組合が前年実績比 8,000 円超の回答を引き出したのをはじめ、JMIU（3 組合）、化学一般労連（1 組合）の計 4 組合が前年実績比+3,000 円台、JMIU（2 組合）、日本医労連、映演労連、全倉運、全労連・全国一般の卸売・小売、全印総連（各 1 組合）の計 7 組合が+2,000 円台を引き出すなど、166 組合が前年実績額を超える回答となっています。

単産・部会別にみると、比較可能な 23 単産・部会のうち、地方登録組合（971 円増）、映演労連（829 円増）、全倉運（670 円増）、JMIU（534 円増）、化学一般労連（464 円増）、建交労・鉄道（442 円）、建交労・製造（305 円増）、建設関連労連（143 円増）、地方マスコミ（37 円増）の 9 単産・部会が前年実績比プラス、14 単産・部会がマイナスとなっています。

引き上げ率で前年実績と比較可能な 187 組合での単純平均率は 2.15%で、前年実績比+0.04 ㊦となっています。率で比較可能な 18 単産・部会のうち、対前年実績比プラスは 10 単産・部会、マイナスが 8 単産・部会となっています。

規模別では、「29 人以下」が 25 円減・+0.16 ㊦、「30~99 人」が 315 円増・+0.12 ㊦、「100~299 人」が 74 円増・-0.02 ㊦、「300~999 人」が 169 円増・-0.07 ㊦、「1000 人以上」が 115 円減・-0.02 ㊦となっています。

## 非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

パートやアルバイト、再雇用など非正規雇用で働く仲間の賃上げは、別表の 15 単産の 214 組合から 340 件の成果獲得の報告が寄せられています。

前回調査（11 単産・162 組合・275 件）から 52 組合・65 件増え、前年同期（2014 年 5 月 29 日現在：13 単産・1 地方・175 組合・282 件）を 39 組合・58 件上回っています。

パートやアルバイトなど（再雇用・継続雇用で働く仲間を除く）で働く仲間の時間額での引き上げ獲得は 227 件（前回比 43 件増、前年実績比 14 件減）、日額は 6 件（同 1 件増、同 15 件減）、月額額は 71 件（同 12 件増、同 25 件増）となっています。

時間額での引き上げ額報告のあった 170 件の単純平均額は 27.7 円で、前年実績額を 1.1 円上回っています。日額では 7 件平均 105 円、月額では 44 件平均 3,301 円となっています。

時間額 300 円（生協労連）、220 円（福祉保育労）、180 円（日本医労連）の引き上げや金融労連、生協労連、全労連・全国一般の職場からは月額 10,000 円引き上げなどの報告も寄せられています。

再雇用・継続雇用で働く仲間の賃金引上げは、時間額 17 件（前回調査比 2 件増、前年実績比同件数）、月額 17 件（同 6 件増、同 3 件増）の成果を獲得しています。時間額での引上げ額は 13 件平均で 18.3 円、月額は 13 件平均 4,123 円となっています。JMIU の職場では再雇用者の月額 20,000 円引き上げの回答を引き出しています。

底上げ、格差是正など非正規雇用労働者の課題を重視して取り組む中で大きな成果を上げています。

## 企業内最低賃金改訂状況

企業内最低賃金協約の締結・改定状況は、別表の 11 単産 104 組合から報告が寄せられています。

時間額での獲得件数は 86 件（前回調査比 4 件増、前年実績比 8 件減）で、日額は 35 件（同 1 件増、同 12 件増）、月額は 57 件（同 2 件増、同 13 件減）となっています。

時間額で改定後の金額揭示のあった 86 組合での平均額は 891 円で、日額は 24 組合平均 7,419 円、月額では 47 組合平均 16,8117 円となっています。

全体平均では、最低賃金要求の「時間額 1,000 円、日額 8,000 円、月額 170,000 円」以上には僅かに及んでいませんが、出版労連での「時間額 1,496 円、日額 10,478 円、月額 220,030 円」など多くの職場で最低賃金要求を上回る回答を引き出しています。

その他、生協労連（ヘルパー）、日本医労連（看護師、ヘルパー）、建交労（大型運転手）で職種別の最低賃金協定を勝ち取っています。

これら職場の成果を、秋の改定に向けて審議が開始される法廷最低賃金の大幅引き上げに繋げていきましょう。

## まもろう憲法と暮らし ストップ暴走政治 実現しよう！大幅賃上げと雇用の安定

### <参考> 他団体の賃上げ集計結果

●連合の第 5 回回答集計（平均賃上げ方式・5 月 13 日公表）は以下のとおりです。

集計対象	集計組合		加重平均			
	組合数	人数(万)	金額	率	昨年	率
全組合	3,439	230.3	6,710	2.28	6,103	2.11
中小共闘	2,416	22.2	4,845	1.99	4,422	1.84

※中小共闘は、規模 300 人未満

※単純集計（一組合あたりでの平均）での公表なし

●連合・第 5 回回答集計（非正規雇用労働者の賃金引上げ・5 月 13 日公表）は以下のとおりです。

集計対象	時間額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	平均時給	人数(万)	賃上額	平均時給
全組合	251	15.37	949.04	53.5	17.07	921.67

集計対象	月額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	率(参考)	人数(万)	賃上額	率(参考)
全組合	159	3,365	1.68	4.4	4,128	2.05

●日本経団連の大手企業第1回回答集計（4月16日現在）は以下のとおりです。

集計対象	集計企業		加重平均				単純平均			
	社数	人数	金額	率	昨年	率	金額	率	昨年	率
加盟企業	62	—	<b>8,502</b>	<b>2.59</b>	7,643	2.34	<b>6,972</b>	<b>2.24</b>	6,290	2.04

※調査対象は、原則として東証一部上場、従業員数500人以上の企業

●日本経団連の中小企業第1回回答集計（6月3日現在）は以下のとおりです。

集計対象	集計企業		加重平均				単純平均			
	社数	人数	金額	率	昨年	率	金額	率	昨年	率
加盟企業	240	—	<b>4,601</b>	<b>1.83</b>	4,438	1.80	<b>4,383</b>	<b>1.77</b>	4,196	1.71

※調査対象は、原則として従業員500人未満、17業種741社